


令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 愛媛県 】

学校名【 西条市立三芳小学校 】

1 実践テーマ	I・III
2 実施対象者 (学年・人数)	講演と実演見学・・・全学年（82名） 車いすバスケットボール体験・・・5、6年（20名）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 体育科 ） ② 行事名（                    ） ③ その他（                    ） (2) 地域における活動 ① イベント名（                    ） ② その他（                    ）
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業での実践、講師の招聘から、挫折を味わいながらも前向きに取り組んだり、競技との出会いを通じて障がいはどう乗り越えたりしたか、努力することの大切さを学ぶ。</li> <li>・ 子どもたちがパラスポーツを通し、共生社会について考えられるようにする。</li> </ul>
5 取組内容	<p><u>事前学習</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「オリンピック・パラリンピックについて調べよう」</li> <li>・ 図画工作科立体「白熱！！スポーツの祭典」</li> </ul> 

## 講演

本校体育館にて全校児童82名が参加した。愛媛県車いすバスケットボール協会の國本司さんに、共生社会について講演いただいた。スポーツにおいて自分たちには不利なところもあるが、ルールを工夫すれば互いに楽しめたり、競い合ったりすることができる。人それぞれ平等に生活していくためには、人と人の協力が必要ということなどを話していただいた。



車いすバスケットボールの実演もしていただいた。機敏な動きでゴールへ向かったり、方向を切り替えたりする様子を見て児童は驚き歓声を上げていた。また、転倒した時の起き上がり方や、自分より背の高い人からボールを取るために片輪で立つ方法などのテクニックも見せていただき、講師の方々の技術の高さを実感することができた。



## 車いすバスケットボールの体験

5、6年生20名で行った。基本的な操作を学んだ後、鬼ごっこやシュートの練習をした。児童は楽しみつつ、とても熱心に活動していた。短い時間であったが、車いすバスケットボールへの興味関心がより一層高まったように感じた。



	<p><b>事後学習</b></p> <p>実施後、各学年ごとに感想を書いた。以下抜粋。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 誰もが同じスタートラインに立てるように工夫すること。これは妹や下級生のみんなと遊ぶ時などとても大切だと思いました。身の回りのことからどんどん工夫して、私からほかの人へと広がってほしいです。(6年生)</li> <li>• 普段使う車いすと、競技で使う車いすの違いがよく分かりました。車いすバスケットはとても難しそうだと思いました。転倒してしまったとき、自分で立ち上がるのが大変そうでした。でも、自分もしてみたいと思いました。(3年生)</li> <li>• お話を聞いて、みんな頑張っているんだなと思いました。バスケットのシュートも見せてもらいました。難しそうでした。でも、一生懸命しているのが分かりました。僕もこれから一生懸命頑張りたいです。(1年生)</li> </ul>
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>• オリンピック・パラリンピックへの興味関心が高まった。</li> <li>• 共生社会の意義について学び、すべての人が安心して暮らしていけるように互いに尊重し合うことへの意識が向上した。</li> </ul>
7 実践において工夫した点(事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1学期からオリンピック・パラリンピックの調べ学習や工作などを行い、興味関心を高めた。</li> <li>• 競技用の車椅子を今治市の施設及び講師の方よりお借りした。体験時に円滑に活動することができた。</li> </ul>
8 主な課題等	特になし
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 第4学年の福祉教育でパラリンピックを取り上げ、共生について考えていく。また、多くの児童が車椅子バスケットに興味を持ったので、来年度以降も体験の機会をつくる。</li> </ul>